

## 課題名：イネの低温鈍感力強化による新たな耐冷性育種法の開発 (研究期間：H22～H25)

### 研究担当者

北大：農学研究院 貴島 祐治  
帯畜大：地域環境学研究所 加藤 清明

北農研：低温耐性研究チーム 佐藤 裕

イネには、寒さから身を守ろうとして働く遺伝子があります。でも、この遺伝子が働き過ぎて害を生じることが少なくありません。遺伝子の働き過ぎをやめさせる遺伝子の研究

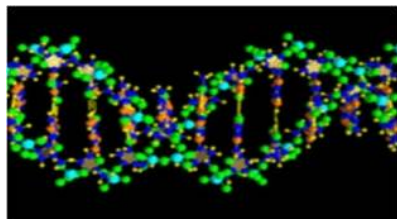
### 研究目的

- ・寒くなるとイネを低温から守とうとして働き始める遺伝子があります。
- ・しかし、これらの遺伝子が働き過ぎるとかえって寒さに弱いイネになります。
- ・そこで遺伝子の働き過ぎをやめさせる遺伝子を見つけて**寒さに強い品種を作ります。**



### 研究内容

- ・イネには寒くなると働き始める遺伝子があって、その影響で育ちが悪くなりますが、寒くても育ち方があまり変わらない品種もあるので、これを選び出します。



- ・選び出した品種から、遺伝子の働き過ぎをとめる遺伝子（**低温鈍感力遺伝子**）を探し出します。

- ・探し出した「**低温鈍感力遺伝子**」を利用して寒さに強いイネの品種を作ります。

